

今年もSAGAMI-NET見参!

日汗工業新聞



2014年はC-072に出展

ハムフェア2014 SAGAMI-NETブースの様子

毎年大好評のDVDROMは、今年も数量限定で頒布します!

無線にとどまらず、多種・多彩な趣味に触手を伸ばすSAGAMI-NET(代表JELIYU)は、今年もまたハムフェアへ出展することを発表した。申込を忘れていたという噂もあるが、特定秘密情報のため詳細は不明である。

今年のDVDROMは、昨年に引き続き各メンバーの研究結果を収録したもので、JFITPRの山紀行、JGIUAAのてきとーな日記、JEMIVの「パズル&ドラゴン」初心者向け解説、JSIRCYの国際宇宙ステーション(ISS)ネタなど、いかにもSAGAMIらしい、統一感のないコンテンツ群となっているので、いつもどおり見逃せない逸品と言えよう。数量も限定されているので、「見つけたら買ってあげ」の大原則に従って購入することをおすすめしたい。

発行所
SAGAMI-NET 広報室
神奈川県相模原市中央区
http://www.sagami-net.jp/

HDDも最新SSDも
ベストバイHG
電子証拠の抹消に最適

今年の展示内容は?

本年度の展示内容は、CQ誌のSHFコーナーのエディターでもあるJFITPRのマイクログワイブ関連機材の展示、JHIGFAのガイガーカウンター関連機材の展示、また近年では老若男女を問わず好評の「当たりくじの駄菓子屋さん」、SAGAMIオリジナルDVDROMの内容展示などを予定している。なお、SAGAMIの特徴としてメンバー間で連携して準備をしているわけではないため、各人の状況等により展示内容が変わる場合があるのをご注意ください。今年の特典イベントとして、地元相模原市の市制施行60周年を記念した特別局8N1S60A/1を、SAGAMIのブースから運用予定としている。普段の運用時に交信をするチャンスが無くても、記念QSLカードを手に入れることができる貴重な機会と言える。QSLカードは3種類の絵柄があるので、ハムフェア会場での交信も含めて複数回交信して、是非3種類とも集めて頂きたい。会場での運用バンドなどを含め、この記念局に関する詳しいことは、ハムフェア当日にSAGAMIのブースで担当メンバーまで質問されたい。

DVDの見どころは?

今年のDVDROMは、毎年購入して頂いている皆様からの期待に過剰に応えるべく、メンバーが日々遊びに遊びまくった研究結果を大々的に収録している。もはや定番コンテンツとなっているJFITPR局山紀行の新作動画、JGIUAAの日々の日記は更にパワーアップして内容も増強されている。今年はノートブックPCのHDD交換、送電線のルートの新規追加記録など、一般の方からマニアまで、役に立つ内容も役に立たない内容も詰まっていること間違いなしである。

JEMIVは、ちまたで流行している携帯電話機能ゲームである「パズル&ドラゴン」について、初心者でも遊べるように分かりやすい解説をしている。

JSIRCYは、地球の周りを回っている国際宇宙ステーション(ISS)から見える地球を撮影した映像をリアルタイムで送り続けるライブカメラについてのレポートや、国際宇宙ステーションの宇宙飛行士とアマチュア無線でQSOが出来る、そんな夢と希望に満ちているかも知れないレポートを掲載している。

これら以外にも、何かしらのコンテンツが追加されていたり、また若干数ではあるものの、昨年頒布したDVDなども用意している。気になる方は是非ともSAGAMIのブースへ足を運んでいただきたい。

SAGAMIが出展する小間は、C-072である。各位の来訪を心からお待ち申し上げる。

SAGAMI-NET JARL登録クラブ 11-4-60

神奈川県を中心に、インターネットなどのニューメディアの利用を主として活動するアマチュア無線団体で、無線に関するハードウェアやソフトウェアの実験・開発・製作・運用を行っています。近年は、メンバー各自の環境に変化はあるものの、JARL神奈川県支部主催イベントへの参加や協力、主要活動拠点のある相模原市の他のアマチュア無線クラブとの交流や特別局運用への協力など、様々な活動に積極的に参加・協力しています。

SAGAMI-NET所属社団局

- JM1YOV SAGAMI-NETやまゆりクラブ
 - JM1YOW SAGAMI-NET県央大和
 - JM1YPA SAGAMI-NET相模原AMC
- インターネット・ホームページ
http://www.sagami-net.jp/
- mixiコミュニティ http://mixi.jp/view_community.pl?id=1246110
Twitterアカウント sagaminet こちらも併せてご覧ください!

相模原市 8N1S60A 60周年 特別局

相模原市は3つの区からなる政令指定都市

緑区 MIDORI 東部においては工業や商業、業務機能などが集積するとともに、西側は美しいやまみや湖・川など豊かな自然が広がる地域です。

中央区 CHUJO 市役所、税務署、裁判所など市や国の主要な行政機関が立地する、行政の中心となる地域です。

南区 MINAMI 大規模な商業地が形成されるとともに、公園や緑地などいこいの場が充実した地域です。

いよいよ今秋60周年

昭和29年11月20日、人口8万人からスタートした相模原市は、内陸工業都市として発展しました。平成18年に津久井町・相模湖町と合併、つづく平成19年に藤野町・城山町と合併しました。

これらの合併により、相模川をはじめ、陣馬山、相模湖など、首都圏を代表する豊かな自然を有することになった相模原市は平成22年4月に人口70万人を超え、市民の活気あふれる政令指定都市となりました。

その後、さがみ縦貫道(首都圏中央連絡自動車道Ⅱ圏央道)の高尾山(海老名間が開通し、リニア中央新幹線とその中間駅の建設も予定されているなど、首都圏南西部に位置する広域交流の一大拠点都市として、日々発展を続けています。



運用開始間もない4月5日と6日に開催された「相模原市民さくらまつり」での公開運用に駆け付けた面々。この運用では約1千局と交信。

相模原市の市制施行60周年を記念して、特別局8N1S60Aの運用を今年の4月1日から開始しました。中心となっているのは相模原市役所アマチュア無線クラブJGIZOOで、八重洲無線、アイコム、ケンウッド、第一電波工業などをはじめとするアマチュア無線関連各社や、市内のアマチュア無線愛好家・愛好団体の協賛・協力により、多くの局と交信を頂いています。

市役所クラブが中心となっていることで、市内の主要な60周年記念イベント会場内での公開運用を行うなど、普段はアマチュア無線という趣味に縁が無い多くのの方々にも、その素晴らしさを伝える好機ともなっています。

QSLカードは3種類を用意

QSLカードは、3種類を用意して各局と交信を行っています。それぞれ、緑区・中央区・南区の各区を市役所クラブメンバーが操縦する航空機から撮影したオリジナル空撮写真となっています。どのカードが発行されるかはオペレータの気分次第ですので、どのカードが届くかは、手元に届くまでのお楽しみです。(原則として交信時に指定はできません。)

日付やバンド・モードを変えて何度か交信すると、3種類揃えられるかも知れませんが、興味のある方は是非複数回交信して頂ければと思います。

今後も相模原にちなんだ特別局を企画していくかも知れませんので、どうぞご期待ください。

年末までの8N1S60A公開運用予定

- 8月23~24日 ハムフェア2014会場(C-072/SAGAMI-NET小間内等)
- 9月21日 相模原秋の大市民まつり会場内(淵野辺公園) ※関連ホームページ http://www.saj-fes.com/
- 11月1~2日 さがみはらフェスタ2014会場内(米軍・相模原補給廠)
- 11月21日 ふれあいフェスタ会場内(淵野辺公園)

運用は年末12月31日まで・運用情報は8N1S60Aホームページにて

8N1S60A 相模原市制60周年記念アマチュア無線特別局

http://sagami-hara-musen.sakura.ne.jp/8n1s60a/ produced by JGIZOO

- トップページ
- 8N1S60Aとは
- 運用情報
- QSLカードについて
- 協賛各社・協力団体
- お問い合わせ
- リンク集
- Q&A

相模原市制60周年記念
相模原市は昭和29年11月20日に市制を施行して今年で60年を迎えます。これを記念し特別局「8N1S60A」を開局します。

8N1S60A

無線でつながる 8N1S60A

相模原市制施行60周年記念アマチュア無線特別局 8N1S60Aを開局しました。開局期間は平成26年4月1日から12月31日までです。

4月1日より運用を開始して既に多数の局とQSOして頂いている8N1S60Aは、今年の年末、12月31日までの運用予定となっています。

運用に関する情報はホームページ上で随時発信しています。興味を持たれた方は、下記に8N1S60A実行委員会のホームページを案内しますので、是非ご覧ください。

8N1S60Aの情報は以下からどうぞ。
ホームページ http://sagami-hara-musen.sakura.ne.jp/8n1s60a/
お問い合わせ 8n1s60a@sagami-hara-musen.sakura.ne.jp





消費税が上がっても…
お値段据え置き

元々消費税は頂いていませんので…

数量限定！
500円也

まとめ買い大歓迎致します！
※但し、在庫の範囲内に限ります。

SAGAMI-NET DVDROM 2014

SAGAMIメンバーの血と汗と趣味の結晶をご覧ください！（汚い、とか言わないでネ）

JF1TPR
毎年恒例となっている趣味の登山写真の記録をスライドショー映像として収録している。
普段なかなか見ることができない絶景を、お家のお茶の間でお楽しみください！



JG1UAA
こちらも恒例のてきとーな日記。今年はいったいどんなネタが隠れているのでしょうか？

ご購入いただいた方にはお楽しみサプライズがあるかも知れません！（無保証です）

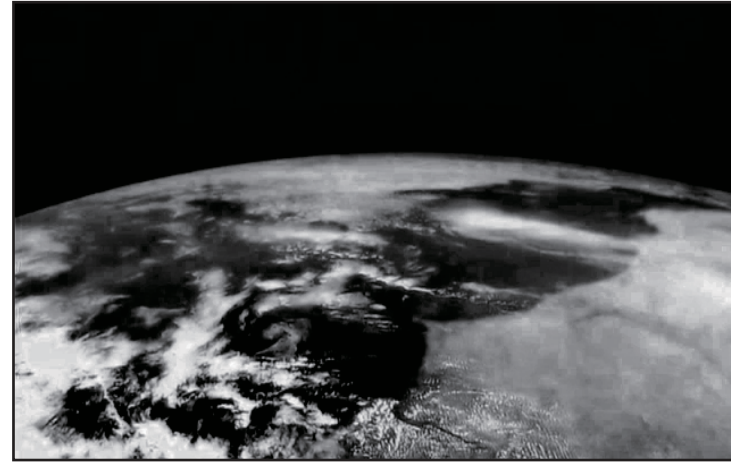


JS1RCY
今年3月で日本国内航空会社路線から姿を消した、ジャンボジェットことB747-400Dを撮影した写真・動画集、国際宇宙ステーションからのライブ配信の紹介をしています。

JE1MIV
最近人気のゲーム「パズドラ」の初心者・未体験者向けの解説記事を掲載しています。

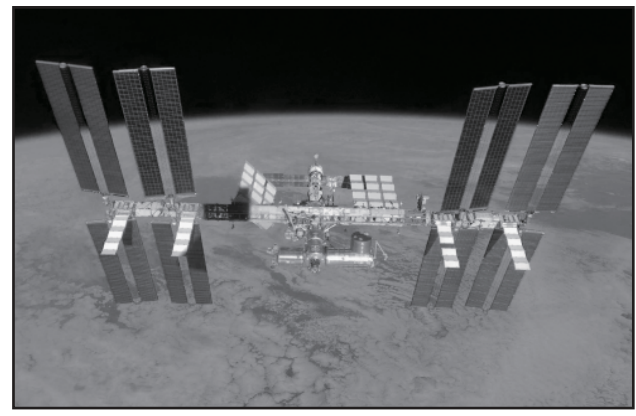
SAGAMI-NET DVDROMのつかいかた (パソコンとDVDを読み込めるドライブ、Webブラウザが必要です)
本DVDROMをパソコンのDVDまたはBlu-rayドライブに挿入し、Windowsパソコンの場合は「コンピューター」、「DVDドライブ」の順に開き、中の「index」または「index.html」のアイコンを開くとWebブラウザでメニューが表示されます。ActiveXの警告が出る場合がありますが、そのまま無視して実行・続行して頂いて問題ありません。

自宅のパソコンで誰でも簡単に



ISSから見た地球ライブ映像 (実際はカラーで配信されます)

**国際宇宙ステーション
ライブ配信を見よう！**
先日、若田宇宙飛行士が国際宇宙ステーション (ISS) から帰ってきましたが、2014年4月30日より、この国際宇宙ステーションから地球を撮影したライブ映像を配信する実験が開始されました。
撮影には、一般に市販されている民生用の高画質カメラを使用しているのが特徴で、将来的に市販の民生用カメラが宇宙環境に耐えうるかどうかを調べる目的の実験を行っています。
このリアルタイムの映像は、Ustream (ユーストリーム) という動画配信サービスを使っており、ほぼリアルタイムの生中継となっています。
実際に飛んでいる宇宙ステーションから見える「たった今の」地球を、お茶の間のパソコンで、リアルタイムで見ることが出来るのです。



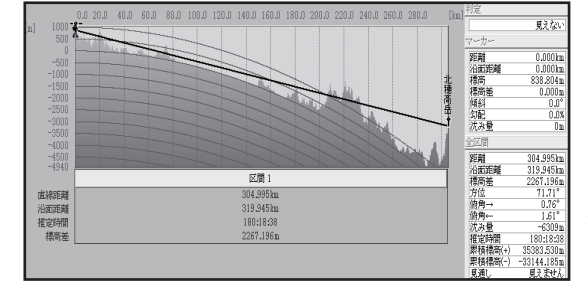
ISSライブ配信番組 (Ustream)
<http://www.ustream.tv/channel/live-iss-stream>
<http://www.ustream.tv/channel/iss-hdev-payload>

ライブ配信には、「NASA」の呼び名で広く知られているアメリカ航空宇宙局が配信する番組と、欧州宇宙機関「ESA」が配信する番組の2つがある。それぞれの特徴として、NASAの番組はISS内外の映像に加えて、地上管制室との交信音声や聞こえたり、ISSが飛行している位置をリアルタイムで表示する内容となっている。またESAの番組は、同機関の実験モジュール「コロンバス」の外部に取り付けられた4台の高画質カメラを切り替えながら、地球の精細な映像を配信する内容となっている。どちらの番組も、カメラの切り替えタイミングや、地上と十分な品質の通信ができない場所などでは、配信が止まる場合がある。
ISSは地上から約278キロメートル、460キロメートルの高空を時速2万8千キロ (秒速7.7キロメートル) という高速で飛行し、約90分で地球を1周している。
配信される映像を見ながらゲーグルマップなどを参照すれば、ちよつとした世界一周旅行気分を味わえるかも知れないですよ。

配信映像はNASAとESAの2番組がある

1200MHz帯もまだまだいける！

去る8月3日早朝、SAGAMI-NET町田研究所フィールドコンテスト移動班 (代表JF1TPR) は、北アルプス・穂高岳 (標高3106メートル) の山頂にて運用を行った。当日、同班は濁沢 (標高2300メートル) のテントを夜中の2時45分に出発。北穂高岳山頂に5時に到着して日の出を迎えた。その後、機材を設置して1200MHzで「CQコンテスト」を連発したが、早朝のためか、残念ながら応答はなかった。
しかし、6時に1294.230MHz / SSBでCQを出すと、JK4 FEL / 4・鳥取県鳥取市・河合谷高原移動からコールバックがあり、なんと59十で交信、同地点のJJ4TSW / 4とも交信に成功した。
カシミールの見通し判定を確認すると、今回の2地点は距離300キロメートルを超えるの「見通し外」との判定となるも、障害物は比較的少ないように見える。経験的には太陽が高く登る前のこの朝の時間帯は、遠距離の交信にもっとも適している。おそらく、5GHzや10GHzでも交信ができたのではないかと思われる。今後は挑戦したいところである。



北アルプス・穂高岳～鳥取・河合谷高原間 300km超でQSO成立

その後、SSBでの応答がなかったためFMにQSYして「CQコンテスト」を連発した所、6時38分にJL3YWU / 3兵庫県移動からFSで応答があった。また、JA1UHY・本庄市固定からも強力な信号で応答があり、同局とは5GHzでも交信に成功した。直接には先と同様に「見通し外」だが、浅間山反射でかなり広い範囲のビームとなった模様だ。
同班は、1200MHzで9局と交信した後、7時30分から機材を5GHz / 10GHzに切り替えて運用し、JA1ODA / 0・JA9BPJ / 9とも5GHzで交信した。10GHzは動作が不調のため交信できなかった。また、日の出の時には富士山も見えていたが、ガスが覆うようになり、雨も時折パラつく天気となったため、8時過ぎには撤収して濁沢に下山した。いづれにしても北アルプス・北穂高岳山頂は、西向きにはかなりの交信距離が期待できそうだ。穂高岳周辺では、過去に前穂高岳の山頂から100mw + 5エレプリンテナで、四国の移動局と交信した事もある。北穂高岳の場合、今回は濁沢のテントから往復したが、北穂高小屋に宿泊すれば、山頂までサドル履きでも2分となる。フィールドコンテストの時は、最も小屋が混む時期であるという問題はあるが、他のバンドでも可能性を探ってみる価値はありそうだ。北穂高岳は「鳥も通わぬ」と唄われた滝谷をかかえる山。同班は数年前に滝谷・ドーム中央を登攀しているが、第四尾根やクラク尾根等の他のルートの岩登りと合わせて1200MHz帯以上の移動運用を計画する事も考えられそうだ。